



NEWSLETTER

京都府立医科大学 WLB支援センター みやこ



2022.6
vol.19

●厚生労働省 令和3年度 女性医療職等の働き方支援事業に採択されました

本学ワークライフバランス支援センター みやこ (WLB支援センター みやこ) が厚生労働省の「令和3年度女性医療職等の働き方支援事業」に採択されました。センターでは、これまで行ってきた支援事業を継続するとともに、本事業として新たに、

- キャリアサポートガイドの作成
- セミナーで海外から学ぶ
- 働き方改革と連動する生活支援

を実施いたしました。

合同セミナー「海外の大学から学ぶ」— タイ チュラロンコン大学

令和3年度厚生労働省 女性医療職等の働き方支援事業

日時：令和4年 1月21日(金) 17時～18時(日本時間) (15時～16時 タイ時間)

開催：オンライン (Zoom Meeting)

言語：英語

医学部の半数以上が女性であるタイのチュラロンコン大学 (CU) と合同セミナーを開催し、CUの取り組みを学び、本学との共通項と相違を探りました。

プログラム：

1. 本学の現状とWLB支援センター みやこの活動について
教育センター・呼吸器内科学 講師・
WLB支援センター みやこ 副センター長 金子美子
 2. チュラロンコン大学 (CU) の現状
眼科部長・准教授 Vilavun Puangsricharern
 3. チュラロンコン大学 (CU) の事例紹介1
眼科医(角膜専門医) Vannarut Satitpitakul
 4. チュラロンコン大学 (CU) の事例紹介2
眼科医(緑内障専門医) Kitiya Ratanawongphaibul
 5. パネルディスカッション— 本学からチュラロンコン大学への質問
モデレーター：CU国際関係・眼科 副部長 Visanee Tantisevi
視覚機能再生外科学 教授・
WLB支援センター みやこ 副センター長 外園 千恵
- パネリスト：〈KPUM〉
糖尿病治療学講座 講師 牛込 恵美
内分泌・乳腺外科学 助教 森田 翠
内分泌・乳腺外科 飯塚まひろ
〈CU〉
眼科部長・准教授 Vilavun Puangsricharern
眼科医(角膜専門医) Vannarut Satitpitakul
眼科医(緑内障専門医) Kitiya Ratanawongphaibul

Joint Seminar on Supporting a Better Work-Life Balance
Chula "Learn from Abroad"
—Chulalongkorn University, Thailand

Date : January 21(Fri), 2022
Time : 17:00-18:00(JST) (15:00-16:00 (BKK Time))
Method : Online Seminar (Zoom Meeting)
Language : English

How to Apply: Please submit the following form by January 19.
<https://forms.gle/AFQJhSBUYzDaFxr7>

More than half of faculty members of medicine are female at Chulalongkorn University (CU), Thailand. We would like to learn from CU and share our good practices holding a seminar, and seek similarities and differences between us.

Program :
I. Introduction of Our Current Situations and Support Systems Regarding WLB
1. Current Situations of KPUM and Activities of The Miyako, WLB Promotion Center
Yoshiko Kaneko, Vice-director, The Miyako, WLB Promotion Center
Lecturer, Department of Medical Education, Pulmonary Medicine
2. Introduction of CU Team
Visanee Tantisevi, Associate Professor, Deputy chairman of International affairs,
Department of Ophthalmology
3. Introduction of Current Situation of CU
Vilavun Puangsricharern, Associate Professor, Chairman of Department of Ophthalmology
4. Best Practices conducted at CU
Vannarut Satitpitakul and Kitiya Ratanawongphaibul, Department of Ophthalmology

II. Panel Discussion (Questions from KPUM to CU and Replies form CU)
Theme: Current Situations and Challenges for the Future
Moderator: Visanee Tantisevi
Chie Sotozono, Vice-director, The Miyako, WLB Promotion Center
Professor, Department of Ophthalmology
Panelist: Vannarut Satitpitakul and Kitiya Ratanawongphaibul (CU)
Emi Ushigome (Diabetes Therapeutics), Yoshiko Kaneko,
Midori Morita and Mahiro Iizuka (Endocrine & Breast Surgery) (KPUM)

Organizer: The Miyako, WLB Promotion Center,
International Academic Exchange Center,
Kyoto Prefectural University of Medicine
Co-organizer: International Affairs, Chulalongkorn University, Thailand



セミナーの内容につきましては、以下のページをご覧ください。

<https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/about/files/220121cu.pdf>

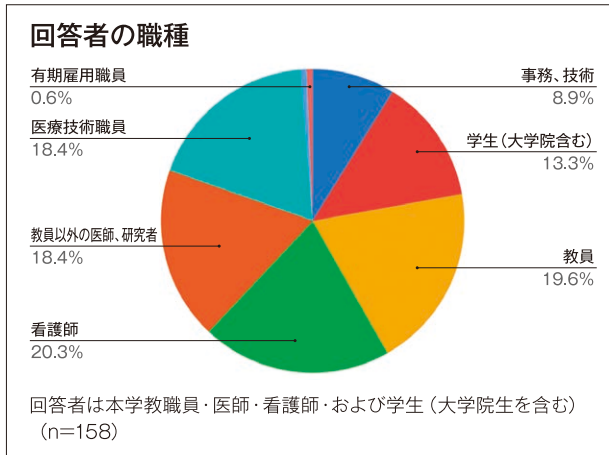
※セミナーの動画をご覧いただけます。視聴申込は以下のフォームからお願いいたします。

<https://forms.gle/rAUQqKaLvc6D1q5J7>

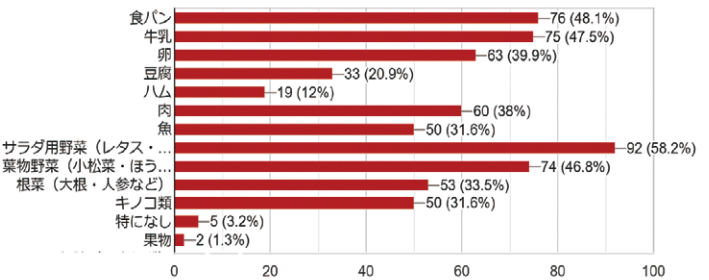


働き方改革と連動する生活支援

令和3年度厚生労働省 女性医療職等の働き方支援事業のひとつとして、働き方改革と連動する生活支援を行いました。生鮮食品や夕食の総菜を注文して帰宅までにピックアップできるシステムを構築するため、学内で生活支援ニーズについての調査を行い、大学生協の協力の下、産地直送野菜を職場に配達するという企画を行い実行しました。ニーズ調査では予想を超えた150以上の回答を得て、様々な生活支援についての要望を知ることができましたので、今後の事業に活かしていくようにいたします。



購入したい食材 (n=158) 複数選択可

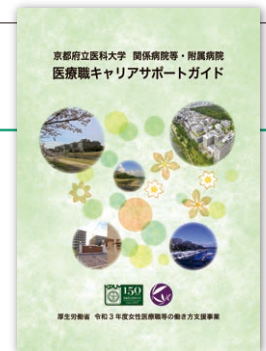


回答者の約6割がサラダ用野菜（レタス・トマト・胡瓜など）を購入したいと回答。続いて食パン、牛乳、葉物野菜（小松菜・ほうれん草など）は4割以上の回答者が購入を希望している。

「京都府立医科大学 関係病院等・附属病院 医療職キャリアサポートガイド」

令和3年度厚生労働省 女性医療職等の働き方支援事業で、本学関係病院および院内診療科におけるキャリア支援の状況を調査し、それらをまとめたキャリアサポートガイドを作成しました。学内外のキャリア支援を可視化することにより医療職・学生等のキャリア・復職支援に役立てることを目的に配布いたしました。

※「キャリアサポートガイド」をご希望の方はセンターまでご連絡をお願いいたします（連絡先 P4）。



●「キャリア支援コンソーシアム“えん”」令和2年度講演会・パネルディスカッション (その2)

令和3年2月28日(日) テーマ：医療人の働き方改革を共有しよう

プログラム：

1. 総会

オープニング挨拶：竹中 学長
CCえんの活動報告・活動計画
森本 WLB 支援センター みやこセンター長

2. 講演会

「当院における『新しい医療文化の創造』と『働き方改革』との両立の試み」
座長：夜久 均（附属病院長・心臓血管外科学 教授）
講師：笠間 毅（昭和大学江東豊洲病院 病院長・昭和大学リウマチ膠原病内科 教授）

3. パネルディスカッション

「皆が輝ける職場を目指した働き方改革」

司会：田口 哲也（内分泌・乳腺外科学 教授）
「本学医療職の働き方の現状について —就業状況調査2017より」
金子 美子（呼吸器内科学 学内講師）

パネリスト

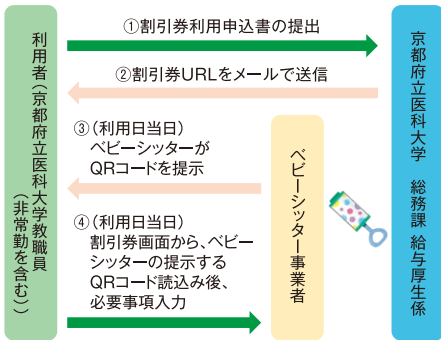
笠間毅講演会講師
夜久 均（附属病院長・心臓血管外科学 教授）
中村 尚美（看護部 総務担当副看護部長）
竹内 一郎（済生会京都府病院 泌尿器科 副部長）
牛込 恵美（糖尿病治療学講座 講師）
※所属等は開催当時のものです。



ニュースレターVol.18に引き続き、「キャリア支援コンソーシアム“えん”」令和2年度講演会のパネルディスカッションをお伝えいたします。

まず、金子学内講師より、2017年に行った就業状況調査から本学医療職の働き方の現状についての報告があり、続いてパネリストそれぞれの立場からお話をいただきました。夜久附属病院長から大学附属病院における医師の働き方改革の現状と課題について、中村副看護部長から看護部での課題と取組そして今後のこと、竹内済生会京都府病院泌尿器科副部長はご自身の育児短時間勤務の経験について、そして牛込講師からは女性医師の現状と内分泌・代謝内科および糖尿病学会の取り組みについてお話しいただきました。その後、働き方改革におけるジェンダーの問題や意識改革についてディスカッションが行われました。

● 申請受付しています：ベビーシッター利用補助事業・WLBサポート利用スタート補助金



ベビーシッター利用補助事業

公益社団法人全国保育サービス協会の「ベビーシッター派遣事業」を活用し、ベビーシッター利用額の補助を行っています。

※詳しくはHPをご覧ください
<https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/support/babysitter.html>

*問い合わせ・申請先：
京都府立医科大学 総務課 給与厚生係
TEL：075-251-5588



WLBサポート利用スタート補助金

育児、出産、介護、通院等と両立させながら研究活動を行う医師・研究者がそれらの支援サービスを初めて利用する際の補助金を交付します。

※詳しくはHPをご覧ください。
https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/support/wlb_support.html

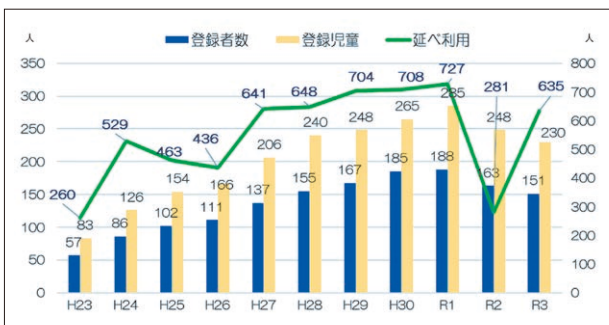


●利用者の声

両親のサポートが得られないため、お迎えサービス付きの病児保育は大変ありがたいサービスであり、登録に際して補助金をいただき助かりました。
(脳神経内科大学院生)



病児保育室「こがも」～病児保育室「こがも」は令和3年7月に開室10周年を迎えました～



受入対象者：京都府公立大学法人の教職員等の生後6ヶ月～小学校6年生までの病気の子ども

開室日・時間：月曜日～金曜日（祝日及び年末年始除く）
午前7：45～午後5：30

定員：5名（別途京都市民枠3名）

*問い合わせ先：病児保育室「こがも」
E-mail：kyotofuritsuika-byojikogamo@aigran.co.jp
TEL：075-251-5272
URL <https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/careroom/riyou.html>



学内保育所「くすのき」

学内保育所では、年度途中の入所を随時受け付けております。

*問い合わせ先：京都府立医科大学 総務課 給与厚生係
TEL：075-251-5588 E-mail：kodomo@koto.kpu-m.ac.jp



フューチャー・ステップ研究員、研究支援員制度利用者 研究成果発表会



令和3年度WLB支援センター みやこ フューチャー・ステップ研究員、研究支援員制度利用者研究成果発表会を行いました。

日時：令和4年1月22日（土）午前10時～12時

開催：オンライン開催 (Zoom Meeting)

第一部 研究成果発表

第二部 子育て中のおしゃべり情報交換 (ママさん医療従事者の交流会)

- 4月1日に令和4年度フューチャー・ステップ研究員(非常勤短時間勤務制度)辞令交付式を行いました。
令和4年度フューチャー・ステップ研究員
北川 暢子 (内分泌・代謝内科学)
富田 仁美 (内分泌・乳腺外科学)
- 令和4年度研究支援員雇用事業に6名が選考されました。



センター専任職員



6月1日に本学卒業の女性医師が、アドバイザーおよびコーディネーターとして就任いたしました。
 アドバイザー：東 あかね（京都産業大学 保健管理センター所長・保健診療所長・共通教育推進機構客員教授）
 コーディネーター：上田 三穂（京都第一赤十字病院 健診部 医師）

◇アドバイザーご挨拶

京都府民へのより良い医療の提供と医学研究の推進のために、医療職全体、特に女性の働き方改革を促し、京都府立医科大学ならびに附属病院を快適職場とする活動にお役にたてればと願っています。

「キャリア支援コンソーシアム “えん”」メンバー募集

- WLB支援センター みやこでは、平成29年4月に広報・啓発事業の企画・運営にご協力いただく「キャリア支援コンソーシアム “えん”（CCえん）」を立ち上げ、メンバーを学内外から広く募集しています。

メンバーになると

1. キャリア支援に関する最新の情報が得られます
2. 各種相談の窓口としてご利用いただけます
3. 講演会等への講師を紹介・派遣します



※詳細、メンバー加入申し込みについてはHPをご覧ください。

<https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/activity/CCen.html>



京都府立医科大学
WLB支援センター みやこ



「CCえん」世話人（R4.4.1現在）

<学外>

武曾恵理（京都華頂大学現代家政学部・食物栄養学科教授）、池田栄人（京都第一赤十字病院院長）、小林裕（京都第二赤十字病院院長）、糸井恵（明治国際医療大学整形外科教授）、田村秀子（田村秀子婦人科医院理事長）、田邊智子（株式会社京都メディカルクラブ代表取締役社長）、平原直樹（御所西ひらはらクリニック院長）、佐藤礼子（乙訓保健所長）（卒業年次順）

<学内>

高山浩一（呼吸器内科学教授）、加藤則人（皮膚科学教授）、福井道明（内分泌・代謝内科学教授）、藤本早和子（副院長兼看護部長）、藤原敦子（泌尿器外科学講師）、峠岡理沙（皮膚科学講師）、牛込恵美（糖尿病治療学講座講師）（卒業年次順）

寄附のお願い 

平成26年6月に本学男女共同参画推進センター寄附金の募集を開始し、令和4年3月末現在、延べ個人174名、7医学教室、および47法人から9,375,000円のご寄附をいただきました。誠にありがとうございました。

この寄附金で、搾乳室・女子休養室・おむつ替え台等の環境整備や、講演会・ニュースレター発行の広報啓発事業を実施させていただきました。さらに若手研究者を支援する新たな支援として、WLBサポート利用スタート補助金、WLBみやこ賞、WLB若手研究者賞を創設いたしました。

WLB支援センター みやこでは、今後とも長期展望を見据えた事業計画のもと、性別にかかわらず医師および研究者を支援していきたいと考えています。引き続き、皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

寄附の詳細については、下記HPをご覧ください。寄附のお申込みがHPからできるようになりました。

<https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/activity/donation.html>

お知らせ 

■ 「ワークライフバランスに係る相談窓口」を開設しています。ぜひ、ご活用ください。

■ 休養・搾乳・授乳等のための女子休養室がございますので、ご利用ください。

▶ 詳しくはHPをご覧ください。



ワークライフバランス支援センター みやこ

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路 上ル梶井町465

電話・FAX：075-251-5165

Eメール：miyako@koto.kpu-m.ac.jp

URL：<https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/>